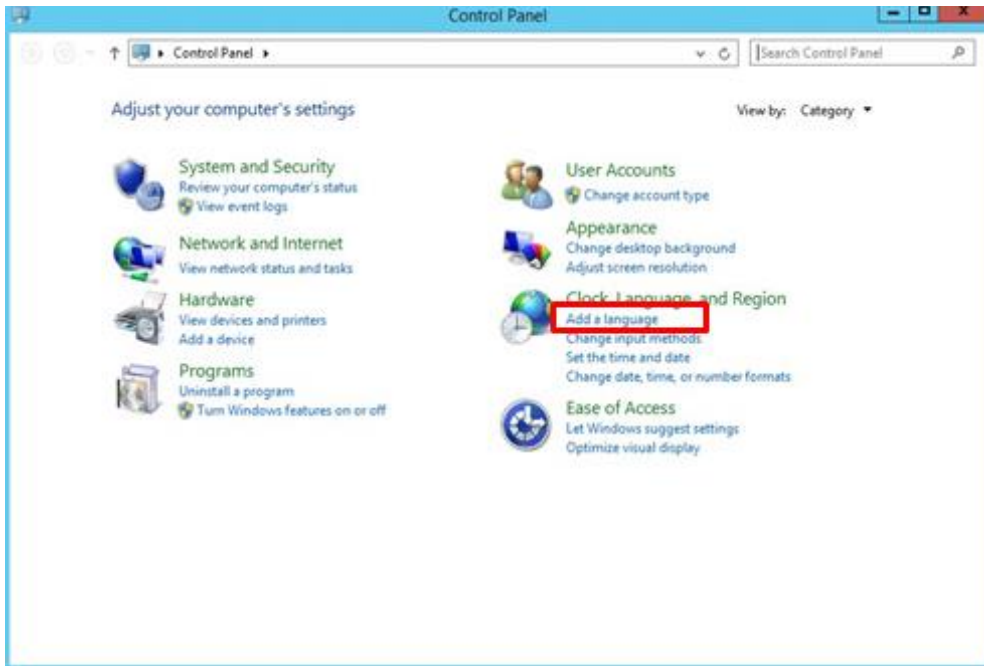


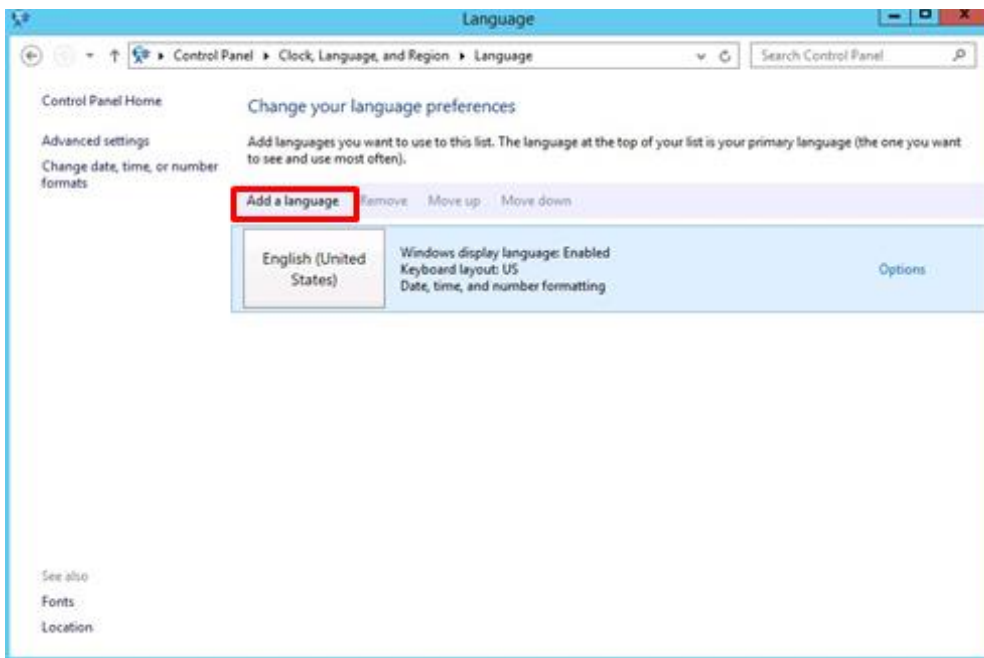
OS(Windows Server 2012 R2/2016)の日本語化手順



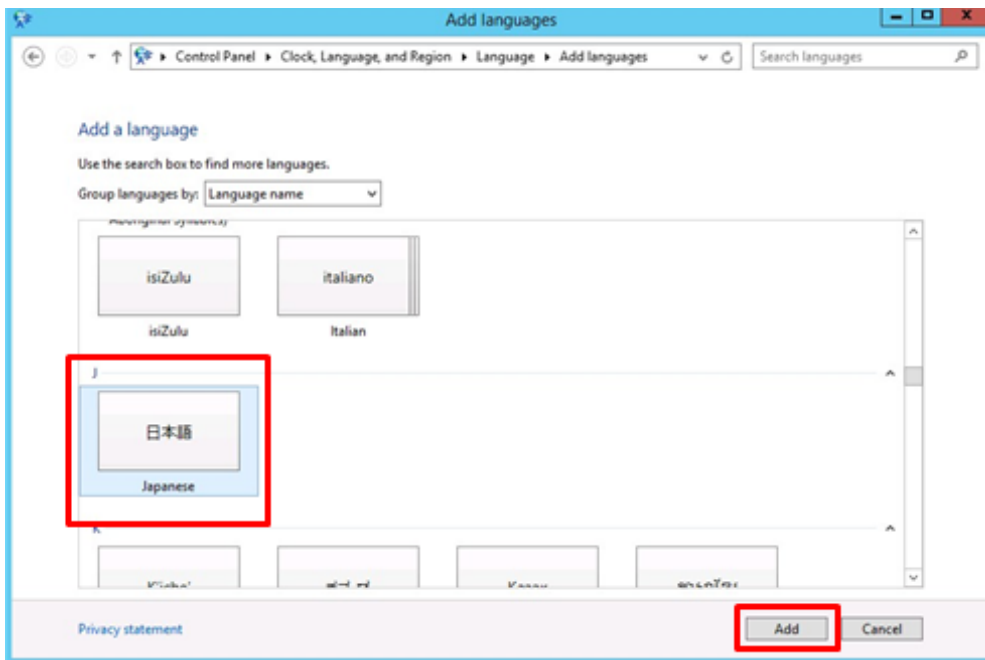
スタート画面から「Control Panel」を開いてください。「Clock,Language,and Region」グループから、「Add a language」を選択します。



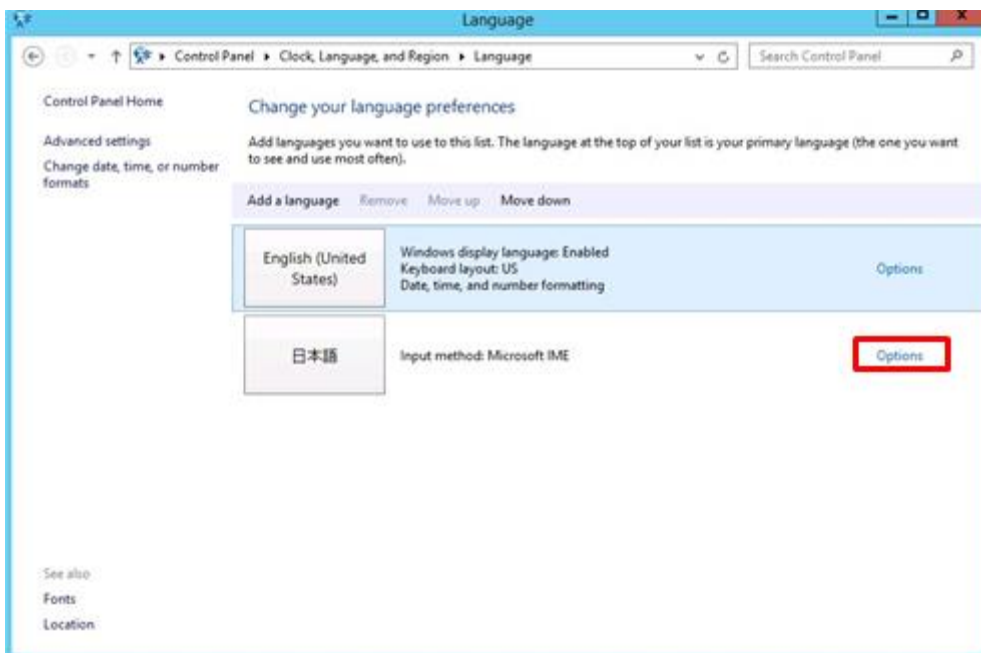
「Language」画面から、「Add Language」を選択します。



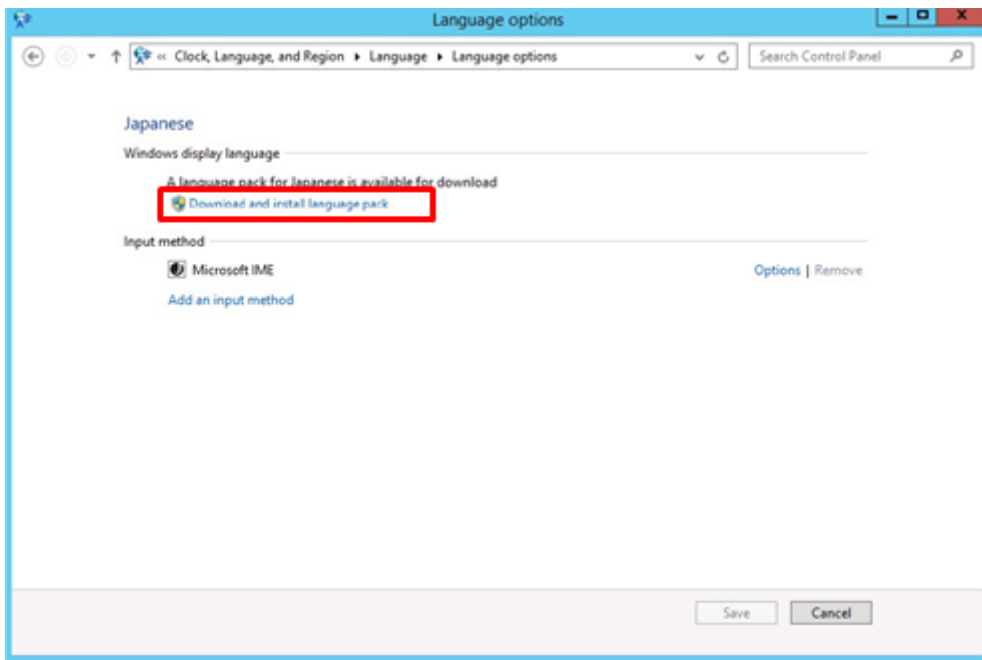
「Add Language」画面が表示されます。言語リストから「日本語」を選択して、「Add」ボタンを押します。



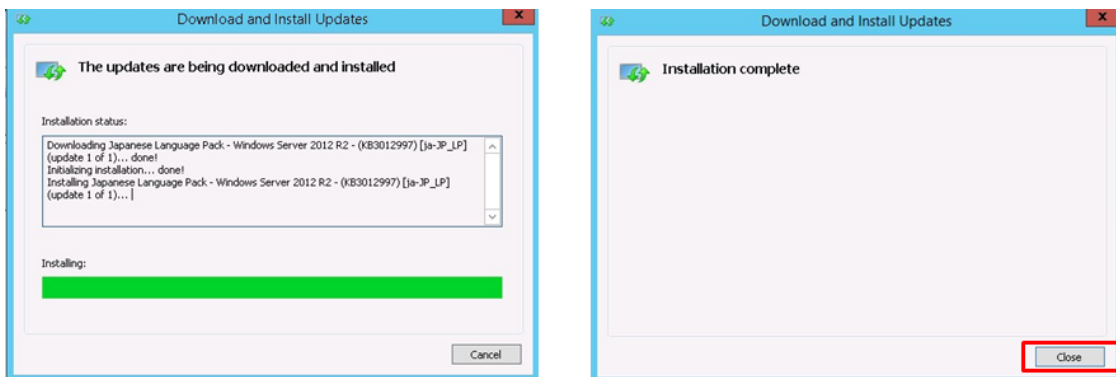
「Language」画面に追加された「日本語」項目の「Options」を選択します。



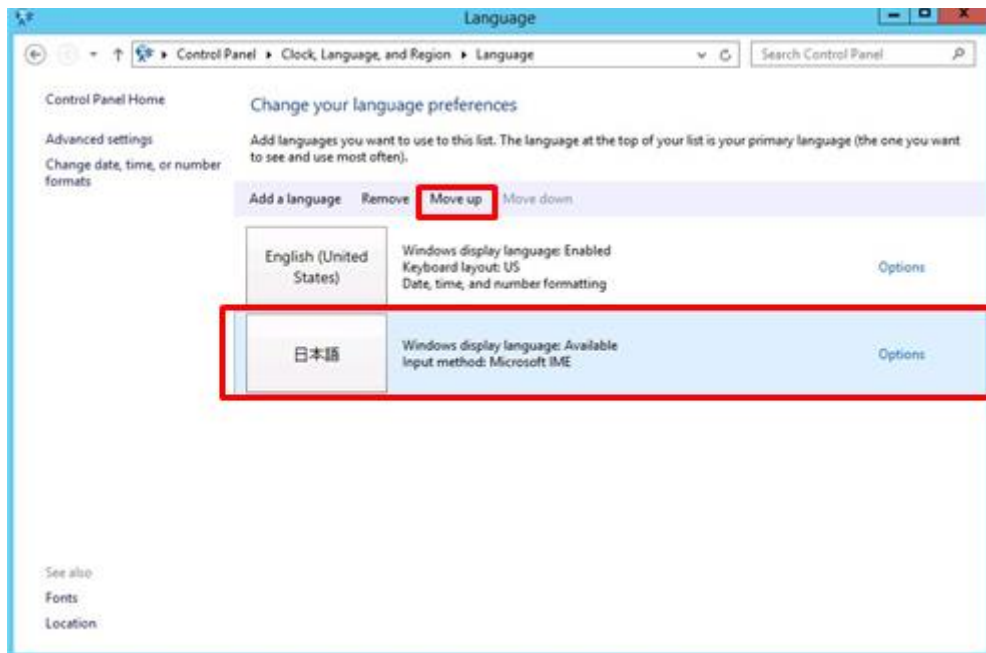
「Language options」画面から、「Download and install language pack」を選択します。（Checking Availability には2～3分程度かかります）



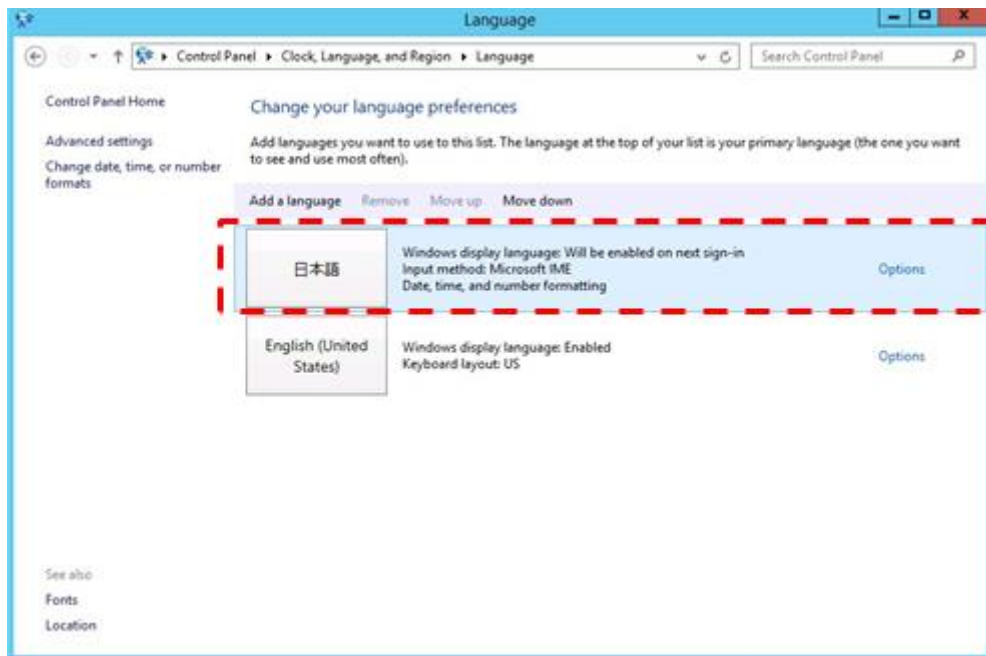
日本語化に必要なパッケージのダウンロード、およびインストールが行われます。完了したら、「Close」を押します。（インストールには約15分程度かかります）



「Language」画面で日本語を第一言語に設定します。「日本語」項目を選択し、「Move up」を選択します。



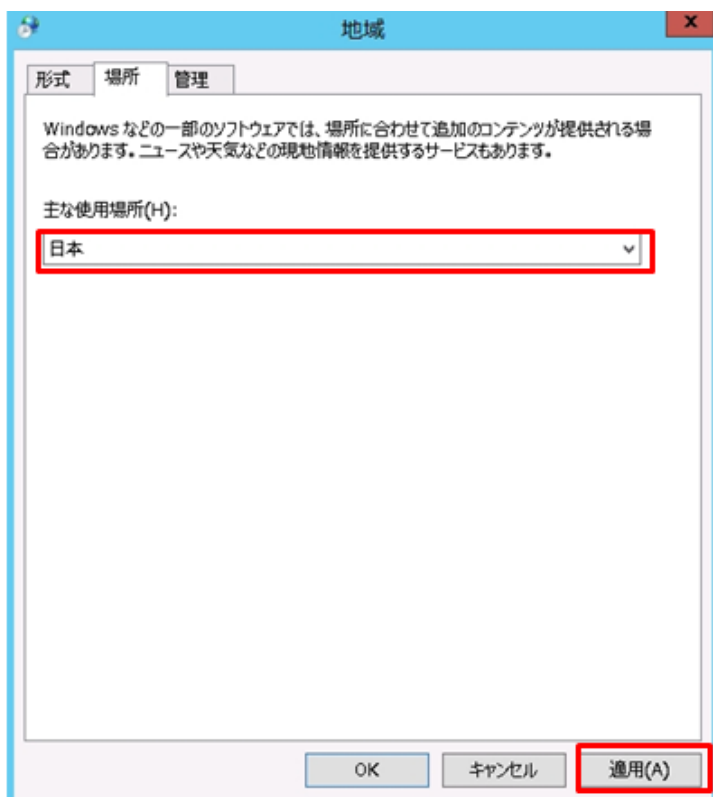
「日本語」項目が一番上に表示されるようになります。一度 OS からサインアウトを行い、再度 RDP 接続すると日本語化されています。



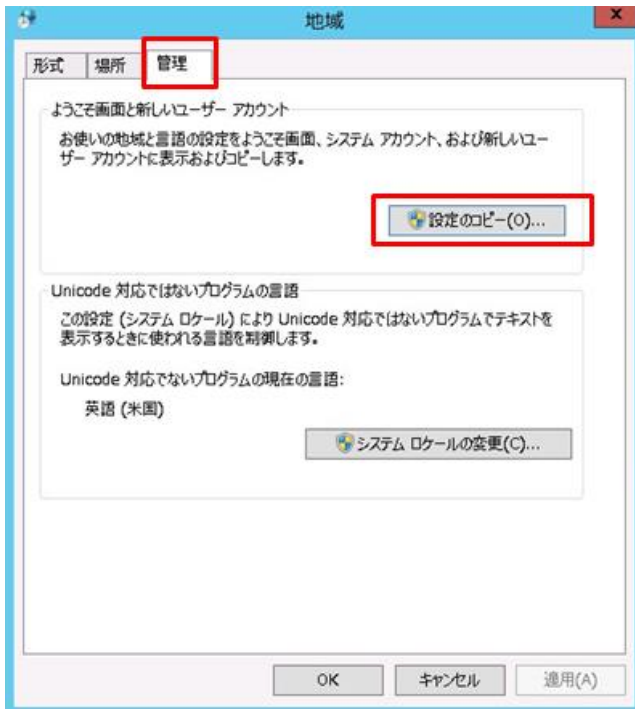
続いて、システム環境の言語設定を変更します。コントロールパネルを開いて、「日付、時刻、または数値の形式の変更」を選択します。



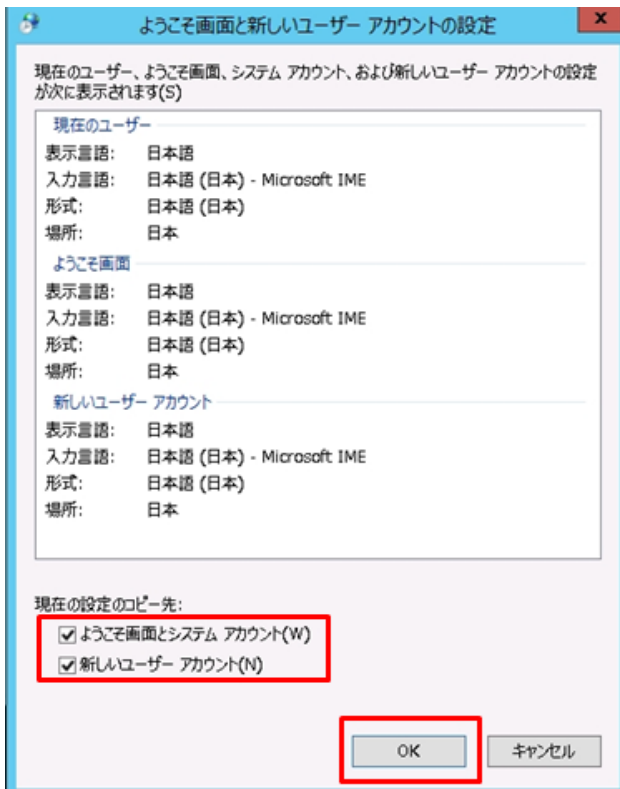
「場所」タブを選択後、使用場所として「日本」を選択し「適用」を押します。



次に「管理」タブを選択後、「設定のコピー」を選択します。



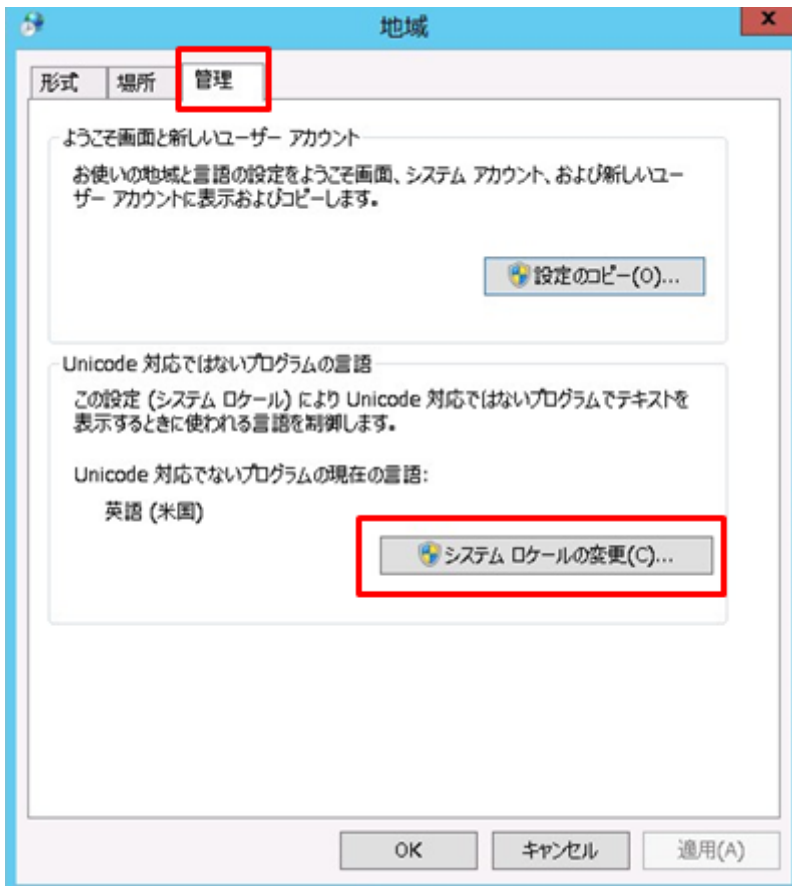
「ようこそ画面と新しいユーザーアカウントの設定」画面にて、現在の設定のコピー先としてそれぞれを選択し、「OK」を押します。日本語での設定となります。



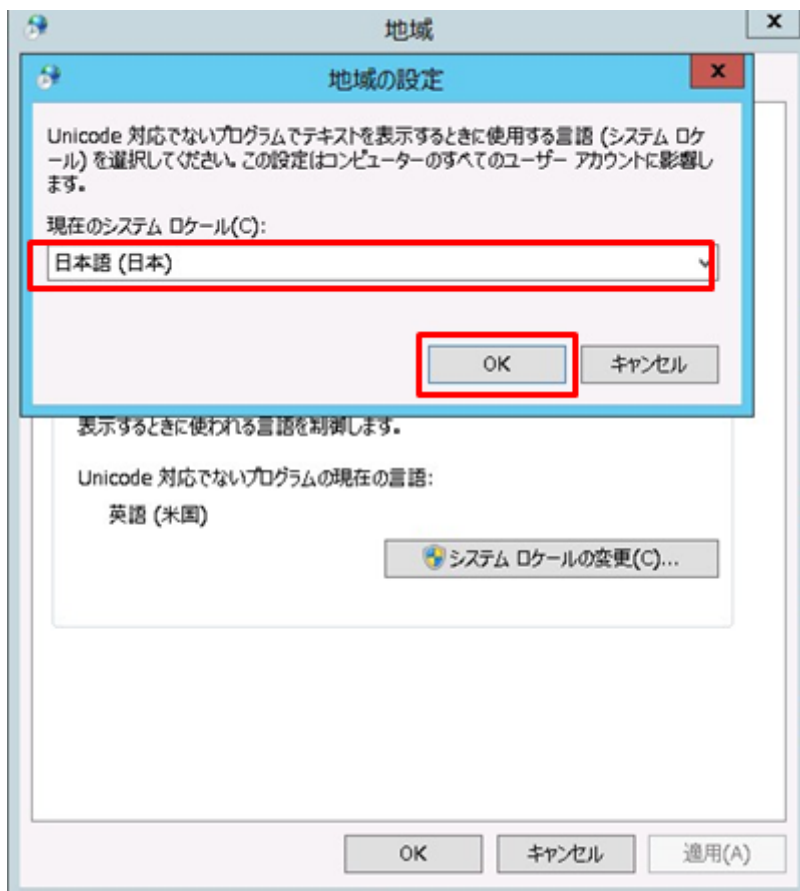
設定変更を反映する為、再起動が求められる場合がありますが、ここでは再起動しません。



「管理」タブを選択後、「システムロケールの変更」を選択します。



「地域の設定」から、システムロケールを「日本語(日本)」に変更して、「OK」を押します。



システムロケールの設定変更を反映する為、システム再起動が求められます。「今すぐ再起動」をクリックして、システムを再起動してください。



システム再起動後、OS 環境は日本語環境に変更されます。